

科学技術週間から



4月18日（金）に本所、長岡雪氷防災実験研究所、新庄雪氷防災研究支所で一般公開を行いました。また、青少年特別企画として「科学技術教室」を4月19日（土）に実施しました。

一般公開は、本所では、大型実験施設を公開するとともに、研究内容の紹介を行い、また、見学者にアンケート調査を実施しました。

結果は、下図のとおりで、この意見を参考にして、次回の公開をよりよいものにしていきたいと思っています。

新庄雪氷防災研究支所では、雪氷防災実験棟の完成を地元の新聞・テレビが一斉に報じたこともあり、多くの見

学者が訪れました。

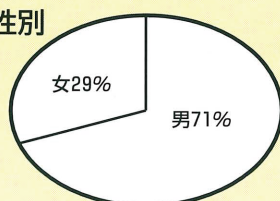
青少年特別企画は、防災総合研究部木下研究室長を講師として、「地震の波をキャッチしよう！」というテーマで実施しました。

この行事に参加した小・中学生20余名は、木下先生より地震計の仕組みを教わり、実際に自らの手で地震計の組立を行い、組み立てた地震計に振動を与えて、目の前に表れた波形記録に大喜びしていました（上の写真）。また、強震観測システム(K-NET)の情報をインターネットで自由に検索し、全国で起こった地震の記録を見るなどの実習を行いました。

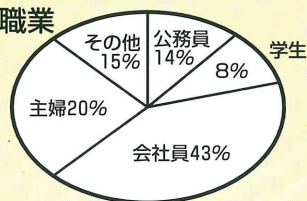
引き続いて実施した所内見学会の、

アンケート結果

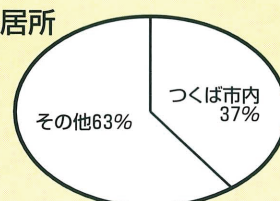
1.性別



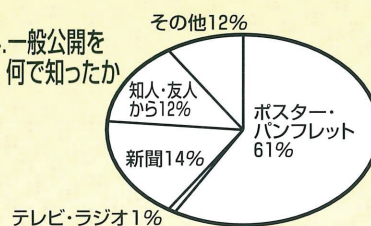
2.職業



3.居所



4.一般公開を 何で知ったか



大型降雨実験施設では、人工の雨の中で子供達のはしゃぐ声が聞こえてきました。

アンケート調査の中で、多くの質問をいただきました。

その中の主なものを紹介します。

Q 一般見学の申し込み方法は (茨城県藤代町 長塚さん)

A 管理部企画課に事前に電話で連絡してください。

スケジュールの調整がつかましたら、こちらから御連絡いたしますので、団体名、見学日・時間、見学予定人数、代表者（連絡者）名、連絡先を依頼文書に書き込んで送付してください。

なお、一般的な見学には、1時間程度必要です。

Q 当研究所と気象庁との関係、 共同研究の有無 (茨城県つくば市 糸野さん)

A 当研究所は、自然災害の未然防止などの研究を行っています。

気象庁は、天気予報などの長期予報技術の向上のための研究などを行っています。

当研究所で、研究用として整備した

関東・東海の地震観測施設約100カ所より得たデータはN T Tの専用回線を介して気象庁に統合されており、気象庁は地震情報として提供を行っています。

また、主に気圏・水圏地球科学技術研究部を中心として、台風などによる海況変化を予測し、沿岸に及ぼす影響を解明することを目的とした研究を、気象庁気象研究所と共同で行っています。

(問い合わせ先=管理部企画課)



科学技術週間

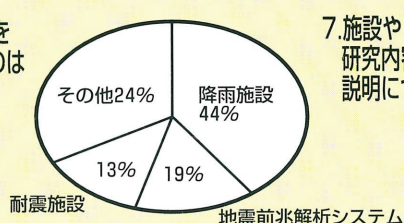
科学技術週間は科学技術に関し、広く国民の関心を深めることにより、我が国の科学技術の振興を図ることを趣旨として、発明の日（4月18日）を含む1週間をいい、昭和35年度より毎年実施されています。

K-NET

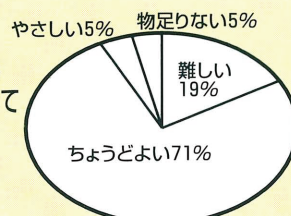
強震観測システム（K-NET）は、全国1,000カ所に設置された強震計の記録をつくばの強震観測センターで収集して、インターネットで発信するシステムです。この強震記録は、観測点ごとの蓄積記録の検索が可能です。

K-NETアドレス <http://www.k-net.bosai.go.jp>

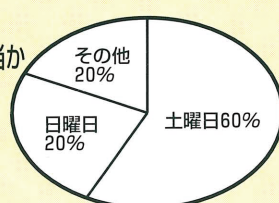
5. 一番興味を持ったものは



7. 施設や研究内容の説明について



6. 公開日は何曜日が適当か



8. 青少年特別企画を知っていたか

